

須原地区 和村地区

- 凡例
- 水舟
 - 撮影スポット
 - 駅
 - ガソリンスタンド
 - スーパー・コンビニ
 - ハナモモ・桜の名所
 - 中山道
 - 駐車場
 - トイレ
 - 飲食店
 - 宿泊
 - 紅葉の名所



須原発電所(近代化遺産)

大正11年(1922)に運転が始まった。当時造られた木曾川水系一帯の発電所の中で唯一、屋根に尖塔がある。尖塔は壁面に設けられることが多いのだが、須原発電所では屋根に設け、建物の一つの特徴にした。当初は屋根の中心にあったが、内部の機能移転や地盤沈下で向かって左の建物の一部を取り壊したため、現在では左寄りとなっている。



和村城址跡



ハナモモ街道
見頃は4月中旬頃。

木曾川電力資料館

木曾川水力開発における歴史的資料及び水力発電・送電設備の実物を展示している。この資料館は昭和61年(1986)に1河川で100万kwの発電を達成したのを記念して創られた。



愛宕山

定勝寺の裏山にある愛宕山には、須原城址跡があり、他にも越坂の東の峰、和村段丘上に城跡と思われる遺構があるとされている。木曾義在(1493-1558)が築いたとされているが、確かなところは不明。妻籠城と共に中世室町時代の代表的な山城として注目される。



歴史民俗資料館

建物は木曾五木をはじめ村内のヒノキを使った、伝統的な小屋組技法の建築様式が特徴的。大桑村の歴史や木の文化を紹介し、平成11(1999)年の伊奈川大野遺跡発掘の際に出土した、村の有形文化財に指定されている「人面装飾付き有孔鍔付土器」が展示されている。

大桑村スポーツ公園

日前神社

大桑村民体育館

民宿いとせ
TEL 0264-55-3686



神明神社の大杉(村指定天然記念物)



エドヒガンザクラ
(村指定天然記念物)
見頃は4月中旬～下旬頃。

糸瀬山



歌川広重の「木曾海道六拾九次之内須原」

突然の夕立にみまわれ、大杉の横にある御堂に駆け込んでいる駕籠かきや、雨宿りをしている旅人を描写している。鹿島神社を描いたのではないかとされている。



須原ばねそ(村指定無形民俗文化財)

須原宿に古くから伝わる踊りで、郷土民謡盆踊りとして唄い踊られる。嘉慶年間(1387～1389)より京都から伝承した庶民文化である。「よいこれ」「竹の切株」「甚句」の三種があり、これらを称して「須原ばねそ」と呼んでいる。※清水医院跡前の灯籠で歌が聴けます。

大桑村は三色桃 発祥の地

大正11年(1922)の須原発電所建設当時、関西電力の前身である大同電力初代社長の福沢桃介が商談でドイツから苗木を持ち帰ったことが、ハナモモの起源となっている。



八重桜
見頃は4月下旬～5月上旬頃。

須原宿(詳細マップ)参照

金比羅神社

天満宮

鹿島神社仮宮

清水医院跡

西尾酒造

セブンイレブン

スーパー

割烹本陣
TEL 0264-55-3526

須原

和村橋

木曾川

須原駅

定勝寺(国指定重要文化財)

1 幸田露伴
『風流伝』
「名物に甘き物ありて、空腹に須原のとろ、汁殊の外妙なるに…」

2 正岡子規
「かけはしの記」
「寝ぬ夜半をいかにあかさ山里は月出づるほどの空だにもなし」

3 島崎藤村
「ある女の生涯」

4 酒井朝彦
「ふるさとの門」
「須原小学校校歌」
「水舟の水のきをめぐりて命常にあたらし」

等



鹿島神社の大杉

至 中津川・名古屋

至 間の宿・野尻宿

木曾の清水寺

岩出観音

至 間の宿

お問合せ先

大桑村観光協会 TEL:0264-55-4566

※写真・イラストは全てイメージです



伊奈川

至 伊奈川溪谷
至 伊奈川神社